

感染症週報 [市内週報 平成21年第35週]

結核・感染症発生動向調査

平成21年9月1日

平成21年第35週感染症発生状況【川崎市内】

平成21年8月24日～平成21年8月30日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届 出	累計(平成21年第1週以降)
<p>第35週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 手足口病となっています。 インフルエンザの報告数が増加しました。夏季休暇が終わり、学校が始まりインフルエンザの感染が拡大する可能性がありますので引き続き注意が必要です。 腸管出血性大腸菌感染症の発生が3件(①推定感染原因: 経口感染、感染地域: 川崎市 ②感染原因: 不明、感染地域: 神奈川県 ③推定感染原因: 経口感染、感染地域: 川崎市)ありました。</p> <p>新型インフルエンザの集団感染が疑われる事例が、7月24日～8月30日までに34件発生しました。 ※7月24日以降、新型インフルエンザは全数把握から、集団発生に関連した症例のみの届出となりました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 6件	結核 257件
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 3件	細菌性赤痢 3件 腸管出血性大腸菌感染症 17件
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件、オウム病 1件 デング熱 1件、レジオネラ症 4件
	5類感染症	アメーバ赤痢 1件 梅毒 1件	アメーバ赤痢 7件 ウイルス性肝炎 2件、急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 12件、ジアルジア症 2件 髄膜炎菌性髄膜炎 1件、梅毒 5件、 風しん 1件、麻疹 22件
新型インフルエンザ等感染症	-	-	新型インフルエンザ 135件*



